

# 「社協の総合相談」をすすめるための関連研修 (新)社協コミュニティソーシャルワーク研修 実施要項

## 1. 趣 旨

社会的孤立・排除や世帯の複合課題、制度の狭間などの地域福祉問題があげられ、今後の包括的な支援体制の構築をすすめるうえで、とくに、多機関・多職種の協働や多様な地域住民の参加は重要なポイントになると言われています。

本研修では、個別支援や地域支援を行う社協職員が新たな学びにより社協の位置づけや方向性を再確認し、「社協の総合相談」を生かして、社協コミュニティソーシャルワーク力を高めていくことを目指します。

## 2. 本研修における県社協としての問題意識と考え方

- 地域共生社会の実現にむけ、包括的支援体制の構築が急がれる今、昨今の地域福祉は、「地域事情に応じ」という考えの浸透からも、市町村ごとにすすめることが基本となっています。こうした状況の中で各市町村社協では事業の多岐化、専門分化が加速、社協での職員雇用は多様化し、有資格非正規職員は増加、正規・非正規職員の役割や専門性の不明確さが従来から大きな課題となっています。加えて、経験や能力のばらつき、年齢構成の偏り・世代間ギャップは、社協局内で課題を共有し、協力して事業を実施するうえでも問題となっています。
- こうしたことから、県社協では「地域事情に応じ」という地方分権の考えや地方自治に理解しつつも、現実的に人材育成等を一つの社協だけで行っていくのは難しいことから、県内の社協が協力し合い、県社協（市町村社協部会等）を中心に臨むことが極めて重要と考えます。
- 本研修では受講する個々の社協職員の専門性や実践力等の向上、また、明日の地域福祉や社協を築く人材の育成を進めるとともに、複数の市町村社協や市町村社協と県社協とがつながること、つまり、社協ネットワークの再構築もその目的と考えています。

## 3. 研修の構成

(新)社協コミュニティソーシャルワーク研修は、講義中心の「社協基礎研修」と、受講する社協職員の問題意識や主体性を重視して行う「社協ゼミナール」の2種類に分かれています（\*ゼミナールは2つに分かれています）。

## 4. 主 催

社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会 市町村社協部会

## 5. プログラム等（※プログラムは変更する場合があります。）

### (1) 社協基礎研修

（概要）

本研修は、社協事業を考えるうえでの基礎について再確認しながら、社協を取り巻く環境の変化や社会的孤立・排除、複合的課題、制度の狭間の現状と課題から、地域共生社会の実現にむけた社協について学んでいきます。

(対象)

基本として社協入職3年から15年程度の職員で個別支援・地域支援を担当する職員（正規・非正規の雇用形態は問わない）。ただし、プログラムの3日目については「計画担当者」を優先することとします。

(開催方法)

web会議システム「Zoom」によるオンライン開催（講義中心）

(プログラム)

全3日間の選択制（1日のみでも可）。1日目のみ3時間の内容になります。

	日時	テーマ	講師
1 日目	令和3年 8月17日 (火曜日) 13:30~16:30	「社協の基本理解」 (社協の歴史、社協の性格、機能、住民主体の考え方など)	聖徳大学 豊田 宗裕氏
		「かながわの社協の現状と課題」 (「かながわの社協指針2020」を中心に)	神奈川県社協 地域福祉部
2 日目	令和3年 9月8日 (水曜日) 14:00~16:00	「社会的孤立・排除、複合的課題、制度の狭間への継続的支援」 (地域生活課題の解決と地域づくりにむけた社協の総合相談)	東京都立大学 室田 信一氏
3 日目	令和3年 9月22日 (水曜日) 14:00~16:00	「地域共生社会の実現に向けた社協事業」 (“地域福祉活動計画”の基本的理解と今日における役割)	日本福祉大学 原田 正樹氏

(受講選考・決定)

所定の申込フォームまたはQRコードよりお申し込みいただき、申込後、受講決定の通知はありませんので、そのまま、ご受講いただけます。

## (2) 社協ゼミナール

(概要)

本ゼミナールでは、個別支援・地域支援を担当する個々の社協職員の問題意識や主体性に基づき、社協における実践課題と結びつくよう、指導教授が関わりながら、少人数のチーム制で学んでいきます。今年度は、①記録・事例検討・ニーズに関する学習の機会、②社会福祉協議会を深める学習の機会の2つのゼミでそれぞれスタートします。

(対象)

基本として社協入職3年から15年程度の職員で個別支援・地域支援を担当する職員。（\*雇用形態、経験年数等構成のバランスは事務局で調整）。少人数制（各5~10名程度）

(受講選考・決定)

所定の申込フォームまたはQRコードよりお申し込みいただき、併せて所定の自薦他薦の書類により、県社協で書類選考のうえ、受講決定します(8月16日頃に通知予定)。申込多数の場合は、ご希望に添えないことがあります。

(特記事項)

○各ゼミには「ゼミ長」(\*受講する社協職員から選出)ならびに「指導教授」(学識者)を配置します。

○1回2時間程度。年5回程度(今年度完結予定)

○初回は集合形式。2回目以降は集合形式もしくはオンライン形式で開催。

○年度の最後にゼミ論集を作成する予定です(指導教授の講評付き)。

○その他、運営に関しては都度、ご相談のうえ、行うこととします。

①記録・事例検討・ニーズに関する学習の機会(指導教授:武蔵野大学 渡辺裕一氏)

地域支援を記録する意味、支援事例の検討方法、スーパービジョンの必要性など、個別支援と地域支援がつながるために必要なことについて学んでいきます。

(初回の開催日時)

**令和3年8月30日(月曜日) 14:00~16:00**

(初回の会場)

かながわ県民センター12階 第2会議室(横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2)

(2回目以降の持ち方について)

日程等については、指導教授、受講者、事務局で相談のうえ、後日決定します。

(プログラム例)

1	コミュニティソーシャルワークにおける記録化と事例検討の必要性 ～社協CSWの抱える課題の共有化～
2	I. コミュニティソーシャルワークを記録する ①記録の意義や役割、②コミュニティソーシャルワーク記録の難しさ、③コミュニティソーシャルワーク記録の現状、④ソーシャルワークプロセスから考える、⑤援助者の思考に沿った記録、⑥実現に向けて解決すべき課題 など
3	II. コミュニティソーシャルワーク事例検討やスーパービジョンを行う ①コミュニティソーシャルワーク事例検討やスーパービジョンに関する現状、②スーパービジョンとはどのようなものか、③まずは情報共有から、④中堅職員のレベルアップ、⑤職場での会話の中にスーパービジョンの意識を、⑥より多くの職員で共有できる場へ、⑦職場環境整備 など
4	III. 個別ニーズ・地域の福祉課題とコミュニティソーシャルワークを連動させる ①個別ニーズや地域の福祉課題の把握、②把握したニーズ・地域課題をどうコミュニティソーシャルワークと結び付けるか、③住民とともに課題解決をはかる、④まとめーこれまでの取り組みを振り返る

《参考テキスト》

「コミュニティワーク実践ヒント集 コミュニティワーク実践力向上のための3つの提案 記録・事例検討・ニーズ」(神奈川県社会福祉協議会市町村社協部会コミュニティワーク検討会,平成20年2月)

②社会福祉協議会を深める学習の機会(指導教授:聖徳大学 豊田宗裕氏)

社協の仕事が複雑、多岐にわたり、専門分化していく現状と課題を共有し、社協職員が一体となって実践していくために必要なことを学んでいきます。

(初回の開催日時)

**令和3年8月23日(月曜日) 14:00~16:00**

(初回の会場)

かながわ県民センター12階 第2会議室(横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2)

(2回目以降の持ち方について)

日程等については、指導教授、受講者、事務局で相談のうえ、後日決定します。

(プログラム例)

1	新・社会福祉協議会基本要項から今日の社協を振り返る～社協プロパターの抱える課題の共有化～「新・社会福祉協議会基本要項」の深読み
2	I. 社会福祉協議会の性格、活動原則、機能
3	II. 社協ネットワークと多機関・多職種協働、住民参加の推進
(キーワード：住民主体、公私協働、地域福祉の計画化、組織化など)	

《参考テキスト》

- 「新・社会福祉協議会基本要項」(平成4年4月1日, 全国社会福祉協議会)
- 「社協・生活支援活動強化方針」(平成30年3月, 全社協地域福祉推進委員会)
- 「市区町村社協経営指針」(第2次改定版)(令和2年7月, 全国社会福祉協議会地域福祉推進委員会)
- 「かながわの社協指針2020」(2020年3月, 神奈川県社協市町村社協部会)
- 「社協・地域福祉事業推進プロジェクト報告書」(2020年3月, 神奈川県社協市町村社協部会) 他

## 6. 参加方法、申込締切等について

- ・所属する社協でまとめてではなく、お一人ずつでの申し込みとなります。
- ・以下の申込フォームまたはQRコードよりお申し込みください。
- ・申込フォームの「現在の職務部門」は、「別紙1」をご参照ください。

(1) 社協基礎研修 【申込フォーム】 <https://forms.gle/xJ87RjB5W8bT49hr9>



【QRコード】

(2) 社協ゼミナール 【申込フォーム】 <https://forms.gle/g3ZgxiuosJ17GLPy6>



【QRコード】

※ゼミナールについては、申込フォームとは別に、【様式1, 2】による「自薦他薦の書類」を申込時にPDF加工のうえ、メールにてご提出いただきます。(※「自薦他薦の書類」は研修案内時にメールで送付しています)。

**申込開始：7月12日(月曜日) 10:00から**

**申込締切：8月10日(火曜日)まで**

- ・Zoomで参加される場合は、「ビデオ画面表示あり」(※参加者同士の顔が見える状態)での参加をお願いします。
- ・Zoomに参加するためのURL、ID、パスワード、当日資料等は開催日までの間に各参加者のアドレスに送付させていただきます。

## 7. 事務局

社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会

地域福祉推進部地域福祉推進担当 (担当：松永、上田泰成)

Tel 045 - 312-4813

e-mail: tiiki@knsyk.jp